

## 「地域資源を活用した安価な鶏用飼料を目指して」

### ～FS研究※開始～

鶏飼料の原料は、約9割が輸入に依存しており、飼料原料価格高騰の影響を受け、養鶏農家の経営が圧迫されています。特に、たんぱく質原料である大豆粕は、代替できる飼料原料が見つかりません。

一方、府内には数多くの酒造メーカーがあり、多くの酒粕が排出されています。酒粕は高たんぱく質ですが、水分量が高く、乾燥コストがかかるため、鶏飼料としての利用はほとんどありません。

そこで、水分調整のため、酒粕を京地どりの特徴付け飼料である竹粉や飼料用米と混合し、乾燥工程を省略した安価な飼料開発を目指します。

※FS研究:実現可能性を検討するための予備調査



酒粕が配合された飼料を食べる京地どり